

本草圖譜

果部

五十九

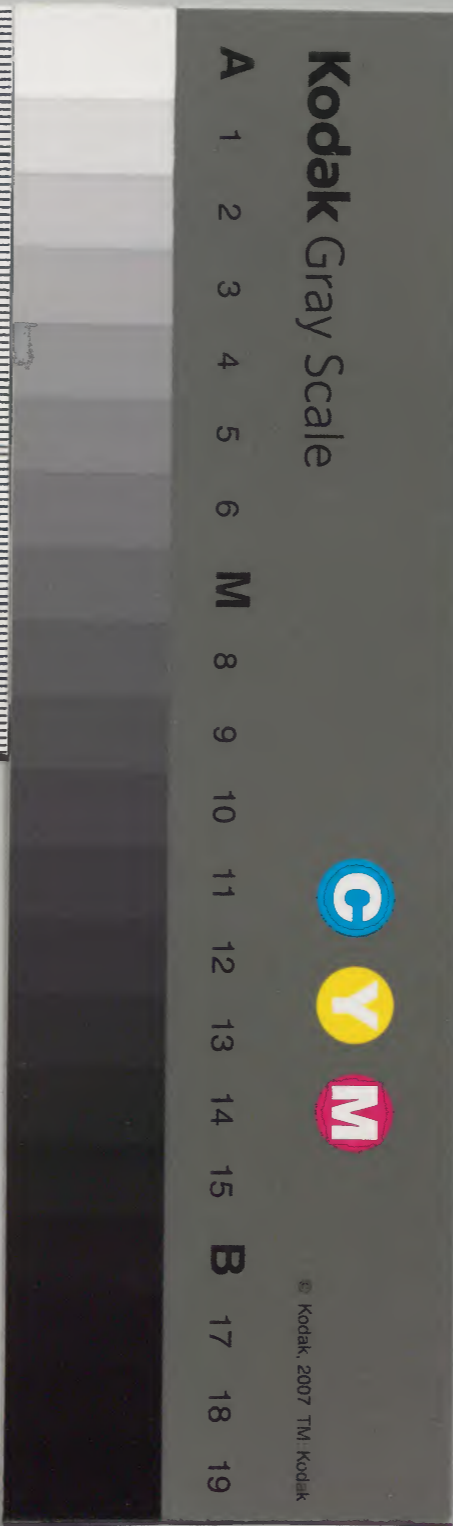
三三六三

農商省
圖書
第二〇七號
共二十一册

和書門
八四二四
類號函架册
七二

內閣文庫	和書
八四二四號	類
七二册	架
九六函	架

內閣文庫	
番號	和 8424
冊數	72 (59)
函號	196 190



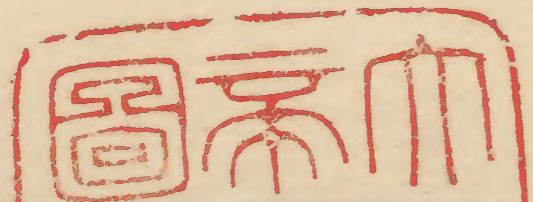
本草圖譜

本草圖譜卷之六十三目錄

明治十二年購求

果部 山果類

梨 <small>り</small>	鵝梨 <small>り</small> 同	滑梨 <small>り</small> 同	青梨 <small>り</small> 同	甘棠梨 <small>り</small> 同	赤棠 <small>り</small> 同
あ	あひゆき	まをあ	あをあ	いんあ	こころいとう
一					五
乳梨 <small>り</small> 齧	水梨 <small>り</small> 同	赤梨 <small>り</small> 同	鹿梨 <small>り</small> 同	棠梨 <small>り</small>	海紅 <small>り</small>
あかあ	まんあ	ころせん	いあ	あまかいとう	あまあとう
二		三		四	



本草圖譜

卷之六十三目錄

本草園別裁

一種	ハコウイコウ	六	垂絲海棠 <small>シキ</small> 解 <small>あききん</small>
木瓜 <small>モクカ</small>	カクハケ	七	一種 かいとうハケ 八
一種	白花ハケ		一種 ひハケ 九
檯子 <small>ダイシ</small>	カトコ	十	一種 とうらんイコウ
檳榔 <small>メイサイ</small>	クマリン	十一	一種
一種	あんらんハコ	十二	一種 榲桲 <small>クマリン</small>
一種	物印 <small>モノヅカ</small> の図		一種 山檯 <small>ヤマダイ</small> 十三
一種	ハコウイコウ	十七	一種 羊札子 <small>ヤウシヤクシ</small> 解 <small>琉球</small>

本草圖譜卷之六十三

東都 岩崎常正 著

果部 山果類

梨

ありのき豫

ありのこ阿

ペイルニス鱈 ペールボム荷 紫實本草和名

紫條紫 縹縹 帶帶 六六 俗俗 合須同上

青田菓便典 菓菓 珍珍 玄圃實同上

本草綱目 卷之六十三 目録

快雪方名物 合消同上 快果八尊生
 迦毗陀樹樹 毗那婆同上
 梨樹本草

樹一ニ大至万春葉小先て花を開き五葉白色葉小點
 点あり一房八九葉簇開くこれを千株雪便玉容と
 云後実を告す形林檜小似て大なり葉の葉長葉圓
 大かりし周りの鋸齒あり種類甚多し相州神奈川下
 袋中山邊より枝を平みて店を作り培養す

乳梨解集 このあらい

野州古賀より出る名産之
 形圓く赤色を帯い水小
 小味ひ甘し

鵝梨同上 あらいゆき

夏月熟し青黄色を形正圓皮薄く水多味ひ
 日一亦形状大小早く熟し
 を六月と名づく



本草綱目 卷之二十三 梨

水梨集 ころも

形はがかり北同
くく水多し

消梨上 さいわをか
越後

大場かき 香水梨 三才

雲南の名産の形圓く大
水多し香氣あり皮黄色し
て微透微し



赤梨上 とう足

形本揆し末廣く長ありて
皮黄赤色大く置ハ谷を
徑て敗れし

青梨上 あをか

形圓く大小
皮厚く水
多し味は甘

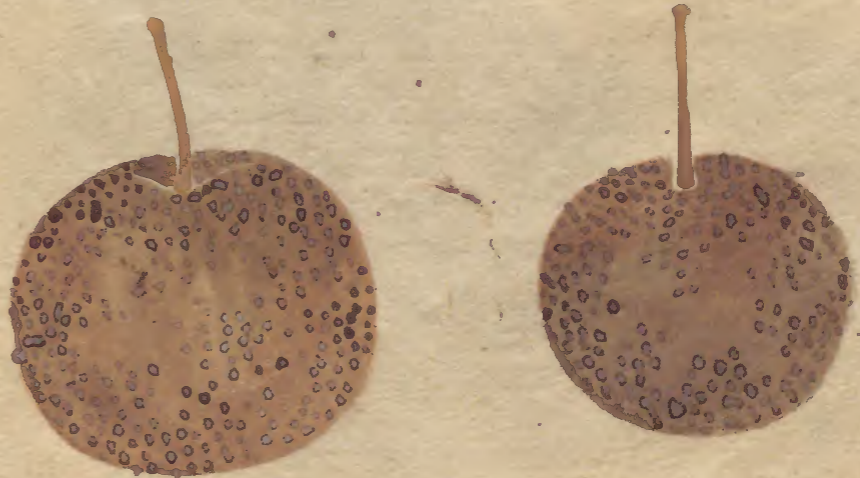


鹿梨解集 い〜か〜

樹高大少して刺ありまう山中小
自生あり貼し〜余の〜を接
く此実圓く〜林檎の如く
皮厚く肉硬し食ふ小甘

甘棠梨解集 りんごか〜

形林檎小似る〜
名〜の類〜
熟する時食ふ〜



棠梨

やまかいと〜

おりんこ

やがりんご

こつをうい〜

花

やまも〜

杜梨

供覧

持花

丹録

山梨

同上曰共花唇開採
之曰乾論之可免蔬

味棠

龍芽

全吉祖

棠

梨

樹

本草

野州日光中禪寺及び常州筑波山中自生あり今
江戸植家小多し葉ハ林檎小似て尖り初生葉圓く
後峽のある葉を生ハ三尖或ハ五尖小あり三月五辨ハ
花を圓く白色小して紅色を帯ふ海紅小似たり熟し
後実を結ふ海紅小似たり熟し紅色味ハ酸味

棠梨



本草綱目 卷之六十三 四 棠梨

赤棠

赤棠 解 赤棠 かいとう
こかりかいとう

葉三尖ありてこかりかいとうの如
花淡紅赤し海紅小似り秋月実
熟して下赤し紅色美あり



本草綱目 卷之六十三 五 棠梨

海紅 やまかいとう

花仙 典藉 便覧

睡妃 名物 方言

貼幹海棠 集解

樹ハ林檎小似て葉薄く嫩葉紅色を帯ふ春花あり五瓣淡紅色実圓くて指頭の大さ秋熟くとまれ小食ふものあり



一種 へんかいとう

せいふらいとう

葉長 花五瓣 紅色実大かり





番系

海棠
集解

南京
かいと

大和本草小中華より来る南京と浙江との二種ありいへり
葉狭く長く嫩葉紅紫色花林檎小似て紅色單葉重葉
相雜り開く蒂細く長く紅紫色下齒

木凡

かう不け

具原か不け
木凡の轉語

キヨミノス
名

鐵脚梨鏡

享保年中漢種木凡を傳へ今多く我々樹一丈許り葉小
先て春月花あり五瓣紅色小く深紅を帯ぶ形不け小
似り秋月実を結ぶ凡の如く葉あり形楕圓小似て
頗る小く味酸内の子黒色少く積り薬用小上邑

一種

かいと不け

枝幹刺りて花淡紅や海棠小似り実の形前條
と同



かしら
わけ



木
かしら
わけ

一種

白花不け

形如^いひ^とく^り不^けの^り
似^て白^色微^し淡^い
紅^を帯^ふ



一種 ひがけ

花^{はな}深^こ赤^{せき}色^{しき}小^こて美^み圓^ま
く^のい^はく^わけ^し同^じ以^て
上^{じやう}二^に種^{しゆ}皆^{みな}味^{あじ}の^り酸^{さん}食^じ
少^{すく}へ^く以^て皆^{みな}臭^{くさ}多^{おほ}頭^{あたま}
尾^び四^し分^{ぶん}又^{また}茶^{ちや}用^{もち}也^{なり}



櫃子

あとり

うす不け

のりけ

山野小多根の條蔓延一高さ一尺許り花ハ木此小似
 て五瓣丹色実又木此小似て味い酸し浸し食用し
 茶用し入る雷敷の説の蔓子或ハ土伏子の屬なり



本草綱目 卷之六十一 十一 洋園 附

一種

スチリーノ子ヤ



形状とミト同一堂葉
綠色にして花純白色

楨櫃

クウノ子

ステリーノ子ヤ

クウノ子 エーヘーレン 薊 櫃子樹

本草

糞查

本草和名
引兼名花

糞

查

人家多く栽也 樹高き丈餘葉ハ木皮子似て大小して
厚く深緑色光沢あり鋸齒あり春五辨の紅花を
開き実を結ぶ凡の如くして帯あり大き三四寸堅くし
て味い渋く微酸 形長きもの多し

一種

実の形圓きものありこれを茶舗小て堅小切て乾
木皮とありハ誤りあり二種とも小生小て研り汁を
絞りと煎熱痰嗽の時砂糖を加へ嘗むこれを

本草綱目

卷之六十一

十一 洋園 附



檳榔

クマリン



本草綱目 卷之六十三 三十一

一種 あんらんしゆ

あんらんしゆ

和州多武峯山
 中小ありし花実
 枝葉模楨小同
 実四くして大かり
 熟しれ黄色香
 氣あり味以酸
 淡し膈腫小之
 らんを煎服す
 此大驗あり



楡いん
 楸しゆ

あるある
 あるある
 ろうりい
 仙臺

陸列武列肥後等小あり樹ハ楡楸小似て葉ハ林檎
 小同し少く熊小黄褐の毛あり花ハ林檎小似て淡
 紅色実ハ楡楸小似て同し黄色褐色あり大小ハ
 少く食小又くさいた子製ハ

本草綱目 卷之六十三 三十一



温
楸おしり

まるめろ



本草圖譜 卷之六十三 十一 雜園

本草綱目 卷之六十三 南洋

一種

物印北日載る因

マリユスセイドア
名ユースワペレン
の解ある物



山檀

さんご

即ち山檀子之

さるあ

湖西

アカライ朝

スヒリユス羅 之入心ホム蘭

棠

迷子

本經逢原

猴梨 保赤全書

山栗

紅果

古今医統

山棠

迷子

山裏果兒

本草

映山

紅果

上同

樹叢生以葉ハ菊ニ似テ五尖あり春月ニ解ハ白花を
開ク季花ニ似リ夏月実を結ハ熱ハ紅色蠟ニ
似テ小く鼻あり味ハ甚く淡薄なり

一種

へんごんさ

形狀前同実を
栽て三年より花実
を生し枝幹軟弱
実大小て御多
核少く熟する時ハ
紅色茶用子上品
かり



山
櫃



羊乳子集

琉球ニ生ク
ワケニ生ク



琉球より種來る 灌木なりて高さ一丈余 樹皮灰白色 葉
ハ五尖ありて葉梨の如く 夏月枝の梢に数花 橙
開し 山楯花の如く 五瓣白色 後実を結ぶ 熟して黄色
かり 荷蘭小てソレベルボムとソレ



Vertical text on the right edge of the right page, including the characters '中子' and '圖書'.

